

第 13 回けやきの杜こども作文コンクール 入賞者・金賞作品のご紹介

国分寺市内の小学校 5・6 年生のみなさんを対象に「お年寄り、障害のある方が暮らしやすい街にするには？」というテーマでの作文を募集したところ、240 名からのご応募がありました。いずれも素晴らしい作文ばかりでしたが、厳正なる審査をさせていただき、9 名の入賞作品を選ばせていただきました。今年もたくさんのご応募ありがとうございました。

以下、入賞者の皆様と、金賞の作品をご紹介します。

金賞 国分寺市立第九小学校 菅野 仁都 さん

銀賞 国分寺市立第四小学校 田中 瑠郁 さん
国分寺市立第五小学校 金子 すず さん
国分寺市立第十小学校 牧島 理央 さん

銅賞 国分寺市立第三小学校 高橋 優里 さん
国分寺市立第四小学校 梅澤 歩実 さん
国分寺市立第五小学校 鹿島 紬 さん
国分寺市立第九小学校 神納 帆花 さん
国分寺市立第十小学校 土田 航大 さん

第13回 けやきの杜 こども作文コンクール 金賞作品

「ぼくの取り組みが世界の目標へ！」

国分寺市立第九小学校
菅野 仁都

お年寄り、障害のある方が暮らしやすくなるということは、ぼくたちも暮らしやすくなるということだと思います。なぜなら、例えばお年寄りの方はいつもぼくたち子供たちに対して優しく接してくれるので、いつまでもお年寄りが元気でいてもらえるようにすることが大事だと思います。また、体の不自由な方を手助けしたことがあるのですが、「ありがとう」と言ってもらえてこちらまで嬉しい気持ちになったからです。みんなが嬉しい気持ちになる街づくりが大事だと思います。

そのためにはどうすれば良いでしょうか。

ぼくたちの住む国分寺市は歩道がせまく信号が少ないと思います。お年寄りや障害のある方だけでなく、ぼくたち子供たちにも危険があります。このような場所が少しでもなくなれば安心できる街になると思います。

また、障害のある方をサポートできるような街づくりをするのが大切だと思います。手話教室を学校の授業に取り入れるのはどうでしょうか。そうすれば耳の不自由な方とみんながコミュニケーションをとれるようになると思います。他にも、一人暮らしのお年寄りの方の話し相手をする活動が増えたら良いと思います。

SDGsの11番目の目標に「住み続けられるまちづくりを」とあります。全ての人が安全に安心して暮らし続けていけるまちの実現が目標です。お年寄り、障害のある方が暮らしやすい街にすることを考えることはこの目標にもつながると思います。

ぼくができることが世界の大きな目標につながると思うと、これからは自分ができることにもっと取り組んでみたいと思いました。